



福竜丸が浴びた死の灰

# 第五福竜丸

## ビキニ水爆実験から 55 年

1954（昭和 29）年 3 月 1 日未明、第五福竜丸（遠洋マグロ漁船）は太平洋のビキニ環礁沖で、アメリカの水爆実験により被爆しました。船は放射能を大量に含んだ「死の灰」を浴び、乗組員 23 名全員が被爆し、半年後に無線長の久保山愛吉さんが亡くなりました。

今回の特別展では第五福竜丸の被災を中心に、現地周辺の島民の被害も含めて、パネルおよび現物資料で紹介し、核兵器の非人道性と平和の尊さについて考えます。



ガイガー検知器



廃船の危機にあった福竜丸

2009（平成 21）年

**5月14日(木) ~ 9月20日(日)**

### 展示内容

於：1階 特別展示室

#### ■ 写真・文字パネル(約80点)

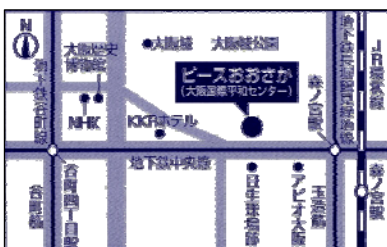
ビキニ水爆実験被害の実相や戦後の核兵器の状況などについて、わかりやすく説明したパネル。

#### ■ 現物資料(約60点)

「船内で採取された死の灰」「漁具」などの資料。



福竜丸の大漁旗



入館料/ 大人 250 円、高校生 150 円。中学生以下・65 歳以上・障がい者の方は無料。  
20 名以上は団体割引。

開館時間/ 午前 9 時 30 分～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）

休館日/ 月曜日、国民の祝日の翌日（月曜日が祝日の場合、翌日の火曜日は開館）、  
月末、年末・年始

ホームページ/ <http://www.peace-osaka.or.jp>

〒540-0002 大阪市中央区大阪城 2-1 TEL 06-6947-7208 FAX 06-6943-6080

主催：財団法人大阪国際平和センター（ピースおおさか） 協力：東京都立第五福竜丸展示館

後援：大阪府 大阪市 大阪府教育委員会 大阪市教育委員会